

C O N T E N T S

著者略歴・ii / はじめに・iii / 本書の学び方 1・iv / 本書の学び方 2・vi

1. 医療におけるリスクマネジメント ————— 1

A. リスクの要因	1
a. 人的要因	1
b. 物的要因	8
c. 体制の要因	8
B. リスク評価とリスク管理	10
a. 評価方法	10
b. 管理対策	12
c. 罰則	14

2. 医療における健康被害 ————— 19

A. 医療行為によるリスク	19
a. 血管合併症	19
b. 消化管合併症	22
c. 感染	23
d. リスク対策	27
e. その他	29
B. 医療機器および器具によるリスク	30
a. 放射線診断	30
b. 放射線治療	31
c. 核医学検査	32
d. その他	32
C. 医薬品によるリスク	33
a. 血管内造影剤	33
b. 消化管造影剤	37
c. 造影剤使用の考え方	39
d. 造影剤使用のリスク要因	40
e. 造影剤のリスク対応	40
f. 放射性医薬品	40
g. その他	41

3. 救急医療（合併症治療を含む） ————— 45

A. 救急疾患の診断	45
a. 臨床所見	45
b. 検査所見	46

B. 救急疾患の治療	49
a. 処置法	49
b. 投与薬剤	49
c. 造影検査	51
d. 静脈注射の抜針	53
C. 救命処置	54
a. 一次的救命処置	54

4. 診療放射線技師の業務とリスク ————— 59

A. 診療放射線技師の業務	59
a. 業務等	59
b. 放射線診療のリスク	61
c. 造影剤のリスク	61
d. 静脈注射のリスク	62

5. トラブルの対応と報告 ————— 65

A. トラブルの対応と報告	65
a. 放射線診療ですぐに報告する必要がある医療事故	65
b. リスク事例の危険度のグレード分類	66
c. 各種委員会の役割	66
d. リスク事例の報告体制	67

6. 練習問題 ————— 69

Q001 ~ Q100